

報道関係者各位

2012年11月21日
特定非営利活動法人プラネットファイナンスジャパン
気仙沼信用金庫
米国 NGO メーシーコープ

三陸復興トモダチ基金支援先 ピースジャム代表 佐藤 賢 氏
2012 年度 International Microfinance Awards に選出

三陸復興トモダチ基金の支援先の一つである特定非営利活動法人ピースジャム(宮城県気仙沼市)の代表 佐藤賢氏が、今年で第5回を迎える **International Microfinance Awards** に選出されました。

同賞は、フランスのパリに本部を置くプラネットファイナンスグループ(創設者 ジャック・アタリ)が、マイクロファイナンスの手法による金融支援を受けた世界中の小規模事業の起業家の中から際立った成果を挙げた個人を表彰するものです。

ジャック・アタリとプラネットファイナンスグループは、被災地で事業を通じた復興に取り組む方々の勇氣と行動力に対して敬意と激励の気持ちを込め三陸復興トモダチ基金の支援先事業者の中から授与を決定しました。国際的な有識者による委員が厳正に審査した結果、佐藤氏を含めモロッコ、マダガスカル、ベナン、ブラジル、フランスから合計6名の起業家が選出されました。

佐藤氏は震災直後に物資が不足する中、いち早く被災地の母親たちに紙おむつや粉ミルクの支援物資を届ける活動を開始し、賛同する仲間とピースジャムを立ち上げ母親たちの子育て支援活動を継続してきました。

ピースジャムの活動を通じて、佐藤氏は子供を抱えているため仕事に就けない被災地の母親たちの現実を知り、三陸復興トモダチ基金の新規事業創出助成の支援を受け、母親たちを雇用して有機野菜を使ったジャム作りの事業を立ち上げました。現在9名の母親を雇用しており、将来は託児所を併設した工場の立ち上げを目指しています。

ピースジャムの職場は、母親たちの働く場であるとともにお互いの子供を見ながら子育てをする場所となっています。佐藤氏の活動は、母親たちの雇用創出と子育て支援を同時に実現するという非常に大きな成果を挙げています。佐藤氏は「受賞は地域の復興に力を尽くす人たちを代表してのもの。事業が復興の礎となることで基金に注がれた世界中の人たちの期待に応えたい。」と語っています。

三陸復興トモダチ基金は、マイクロファイナンスの知見とノウハウを活かし被災地の金融アクセスの改善を図り、小規模事業者の起業家精神を引き出すことで、地元根ざした小規模事業者がコミュニティの復興と雇用創出の担い手となるようにこれまで支援してきました。同賞を主催するプラネットファイナンスグループの日本拠点であり、基金を運営するプラネットファイナンスジャパン事務局長の田中和夫は「佐藤氏は被災地の母親と赤ちゃんを救おうという思いから新たに事業を立ち上げ、持続性のあるものにまで押し進めることで被災地を復興へと導いた。そのことが世界の有識者から高い評価を得たのだと思う。」と話しています。

佐藤氏は今年の11月26日にパリのルーブル美術館で開かれる授賞式に出席し、表彰を受けます。

(参考)

International Microfinance Awards: www.planetfinance.org/awards-2012/en/

【特定非営利活動法人ピースジャム】

東日本大震災時に立ち上がった母親と赤ちゃんを支援する任意団体を母体として設立。2012年5月にNPO法人化。活動内容は、宮城県気仙沼市、南三陸町、岩手県陸前高田市を中心にニーズ調査を行い、物資支援、子育て支援、雇用支援を行っている。2012年1月より三陸復興トモダチ基金からの支援を受けて更なる母親たちの雇用機会と子育ての場を提供するジャム作り事業を運営している。

www.peace-jam.jp

【三陸復興トモダチ基金】

プラネットファイナンスジャパンが、米国の非営利団体メーシーコープ及び大手半導体製造会社エヌビディア社の支援を受けて、地元金融機関の気仙沼信用金庫と共同で運営する被災事業者の事業再開・雇用回復・復興支援のための基金。ファーストリテイリング社が運営する「ユニクロ復興応援プロジェクト」からの支援も受けている。現在まで、本基金を通じて、合計 188 件(新規事業創出助成 27 件、被災事業者雇用サポート助成 59 件(人数 79 名)、復興支援融資に対する金利助成 102 件)の事業者及び新規事業に対して支援をおこなった。

■特定非営利活動法人プラネットファイナンスジャパンについて

日本の企業、政府機関や一般の方々に向けたマイクロファイナンス普及啓発と、日本初のマイクロファイナンス支援活動を推進する NPO 法人として 2006 年に設立。国際的な NGO、プラネットファイナンスグループ(本部:フランス・パリ)の日本拠点。プラネットファイナンスグループは、マイクロファイナンス(貧困層/小規模事業者向け金融サービス)の発展を通じて貧困削減を目指して、アフリカ、アジア、南米の開発途上国を中心に、世界 60 カ国でマイクロファイナンス機関の支援活動を実施。東日本大震災を受けて、フランスと日本のラグビーコミュニティを通じた緊急の物資支援「釜石イニシアチブ」、被災地の牡蠣養殖業者の復興支援「フランスお返しプロジェクト」など、グローバルなネットワークを通じた支援活動を実施している。

www.planetfinance.or.jp

■気仙沼信用金庫について

宮城県気仙沼市、登米市、南三陸町、岩手県陸前高田市、大船渡市を主な事業区域とする信用金庫として大正15年に創立。国民大衆のために金融の円滑を図るとともにその貯蓄の増強に資することによりわが国経済の発展に貢献するとの信用金庫の理念の実現を目指し、地域に根ざした事業活動を展開。震災により疲弊した地域の日も早い復旧・復興のため、地域金融機関である信用金庫の特性を如何なく発揮するとともに、お取引先が抱える問題解決に前向きに取り組むことにより、地域と地域企業の再建・発展と地域住民の生活向上に向け、積極的に取り組んでいる。

www.shinkin.co.jp/kshinkin/

■米国 NGO メーシーコープについて

メーシーコープは災害や紛争、貧困などの危機に直面した人々を支援し、彼らが望む生活を送れるような環境作りを手がけている国際的な緊急支援団体。世界中の厳しい環境におかれている地域で、特に地元住民のニーズに基づいて、様々なアプローチで彼らの生活を改善するための支援活動を実施。スタッフは世界 41 カ国に配置され、1900 万人の人々に支援の手を届けている。東日本大震災においては、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンと提携し、物資支援やメンタルケアのプログラム等を提供。

www.mercycorps.org

■本件に関するお問合せ先

特定非営利活動法人プラネットファイナンスジャパン 担当: 広瀬、丸尾、高橋

電話番号: 03-6809-1306

E-mail: sanriku@planetfinance.or.jp

URL: <http://www.planetfinance.or.jp/>